

花ちゃん・オー君・モンタ博士・フッタ博士のくわくわくドット対話てくくら

国立市立国立第七小学校

平成29年9月26日 NO.50 (450)

フッタ博士「はい、みなさん。今日9月26日は何の日でしょうか？」

花ちゃん「え？誰かのお誕生日かしら？」

フッタ博士「うん、ちょっと惜しいかな。マリー、アイダ、ヴェラの三人に関係あるんだけど…“台風のとくい日”なんだよ。」

オー君「ますます分かりませんよ！どうして女の人達が台風を得意なんですか??」

モンタ博士「それは台風が日本を襲う『特異日』ですね。ある事が前後の日よりも偶然とは思えない高い確率で起こる日をそう呼ぶんですよ。」

花ちゃん「今年はおだやかでよかったわ。」

フッタ博士「昔はアメリカのグアム観測所で、台風に女性の名前を付けていたんだね。ここに調べたものがあるから見てみよう。ただし、ショックが大きいかも…。」

モンタ博士「まずマリー(Marie)。これは昭和29(1954)年15号の『洞爺丸台風』で、青森と函館を結ぶ青函連絡船が5隻沈没、ほかも合わせ1761名の犠牲者が出た。」

花ちゃん「9月26日に鹿児島島に上陸して、その日の内に北海道まで行っているわ！日本海を時速100kmですって！」

オー君「戦争を除くとあの『タイタニック号』の次の次、世界で3番目の海難事故だって。でもそれが青函トンネルの実現を早めたってさ。」

フッタ博士「アイダ(Iida)は昭和33(1958)年22号の『狩野川台風』で、伊豆半島中心に犠牲者1269名。大雨で東京も大変だったそうだ。」

オー君「地図を見るとよくわかります。伊豆の雨は真ん中の狩野川に集中するんだ。それで放水路を造ったんですね。」

モンタ博士「ヴェラ(Vera)は昭和34(1959)年15号の『伊勢湾台風』、犠牲者5098名。豪雨と高潮で堤防が壊れて、日本のあちこちも水害になったんだ。秋田県沖で一度中心が消え、青森に再び現れるジャンプ現象を起こしたそうだよ。」

花ちゃん 「高潮が川を逆流したり、貯木場の大きな材木が流されて次々に家を壊したりしたって書いてあるわ。経済的被害は東日本大震災に並ぶかもって。」

オー君 「まわりには高台がない、停電でラジオは使えない…昔は避難するための情報が少な過ぎたんですね。このあと乾電池のラジオが広まったって。」

フッタ博士 「国立つながりでいくと、山口百恵さんのテレビドラマ『赤い運命』が伊勢湾台風に関係しているよ。」

花ちゃん 「ぶつうは『台風〇号』って数字で呼ぶけど、大きな被害が出ると特別な名前がつくんですね。」

フッタ博士 「今はアジアの『台風委員会』で14の国や地域が10個ずつ名前を出してリストを作っている。発生順に名付けていき、翌シーズンはその続きから始めるんだ。このあいだの台風18号は『タリム(鋭い刃先)』だった。」

オー君 「神様とか伝説の勇者とかはパワーがありそう。日本は星座の名前なんですね。でも『こぐま台風』じゃちょっと…。日本では地震に関する『ナマズ』もありますね。あれ、『プリン』に『タンポポ』だって！」

花ちゃん 「『バラ』は3か国が付けているのね。花の形が台風に似ているのかな？それとも危ないとげがあるからかしら？」

【日本の提案した台風の名前】

NO.5	てんびん	75	くじら
19	やぎ	89	こぐま
33	うさぎ	103	コンパス
47	かじき	117	とかげ
61	かんむり	131	はと

※一覧表は校長室前に用意します。